

Evolution of Education

熊本県立熊本北高等学校
UR II アントレプレナーシップ講座 1班

1 ビジネスプランの全体像

授業の分からない箇所を質問する教科質問は、学力向上に有効な手段である。私達は北高生のさらなる学力向上に向けたアプリ開発ビジネスを提案する。

2 実現方法・手段

A 専用のアプリケーションJの開発

内容

1.北高で支給されているChromebookのアプリ内で質疑応答を行う

① 教科ごとに知恵袋方式

一つの質問に対して生徒(匿名)や先生(記名)が自由に回答し、理解度を深める。

② 一対一チャット

生徒と先生が一対一で質疑応答を行い、弱点克服につなげる。

B 先生の存在の可視化(2つ提案する)

内容

1.職員の座席マップ作成

①作成したマップを職員室の外に掲示

②職員のネームプレート(磁石)を作成

③①をホワイトボードに貼る

④出入りの際に職員に自分のネームプレートの付け外しをしてもらう

2.名前一覧表の作成

①職員のネームプレートを作成

②職員室の外の壁に紐をかける

③紐に洗濯ばさみを通す

④洗濯ばさみにネームプレートをはさむ

⑤出入りの際に職員に自分のネームプレートを裏表ひっくり返してもらう



3 ユーザー・提供する価値

〈ユーザー〉

熊本北高校生徒・教員

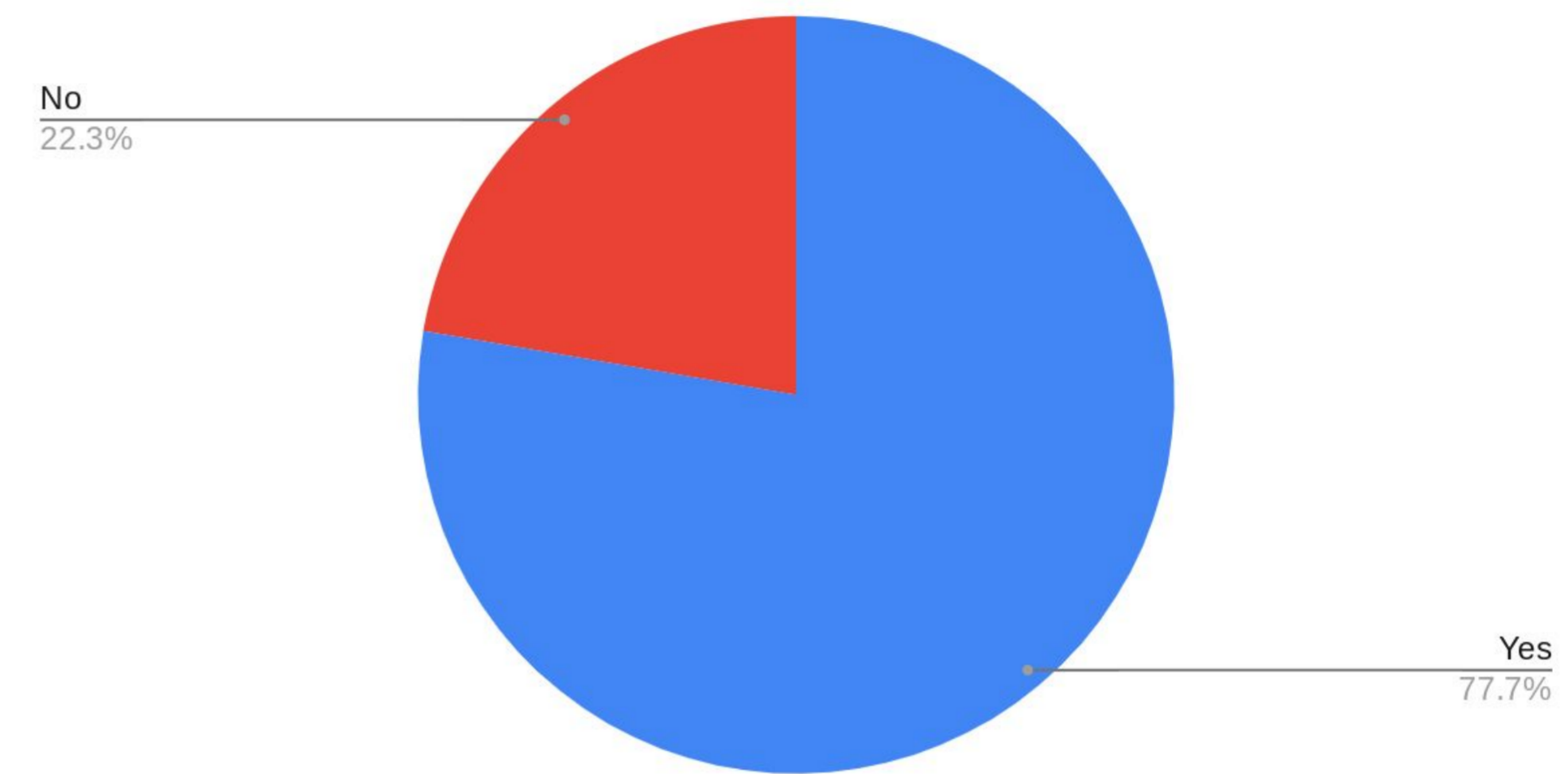


〈提供する価値〉

①アンケート調査を実施

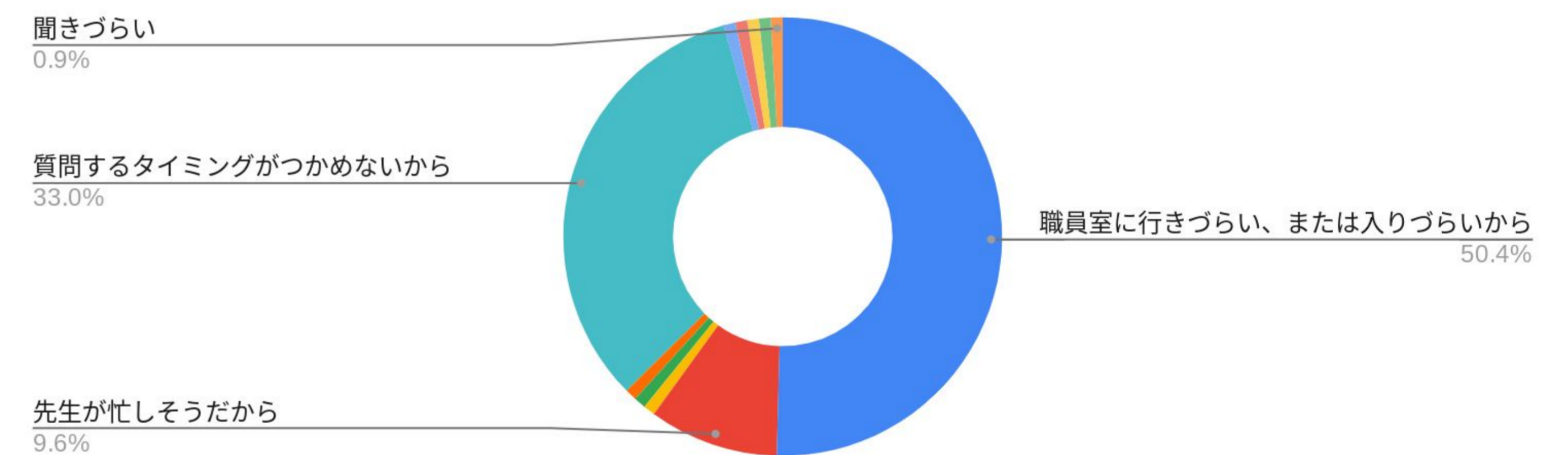
(1)北高2年生徒全員へのアンケート

1.高校生活を通して教科質問をしたくても、できなかったことがありますか？

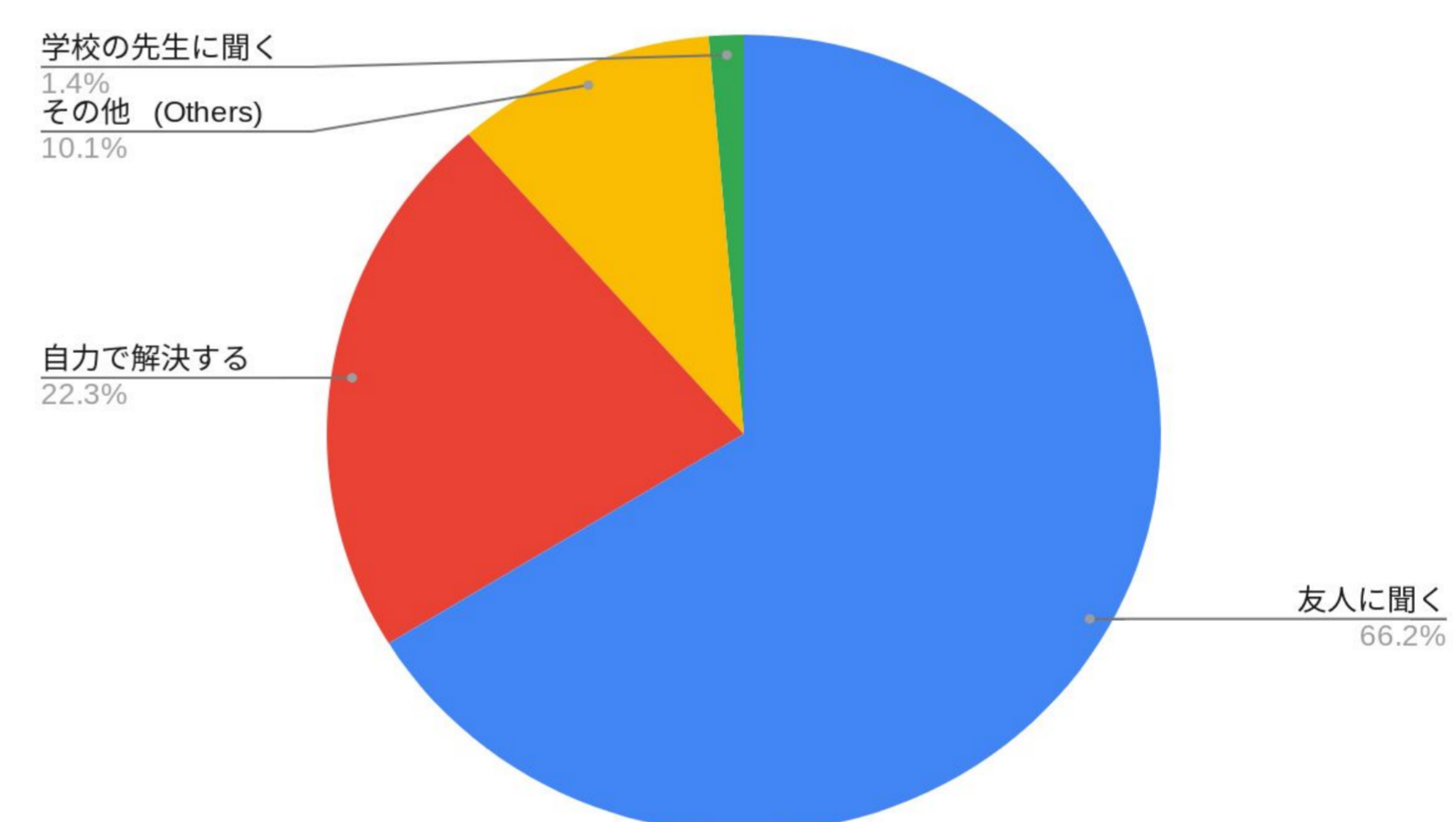


2.1でYesと回答した方に質問です。

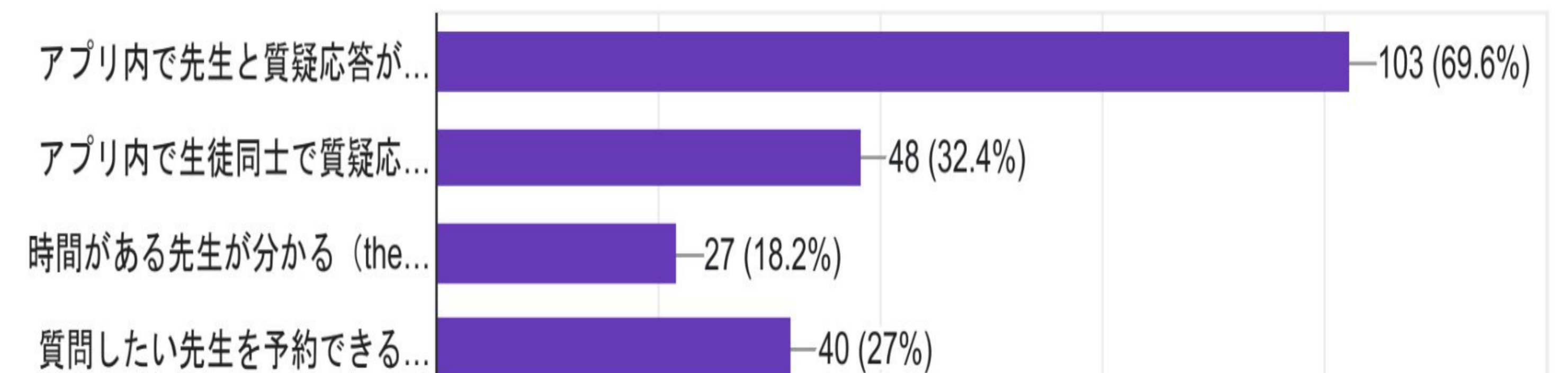
その理由で一番近いものを選択してください。



3.学習面で困ったとき、どのように解決していますか？



4.どのような機能を持ったアプリが欲しいですか？



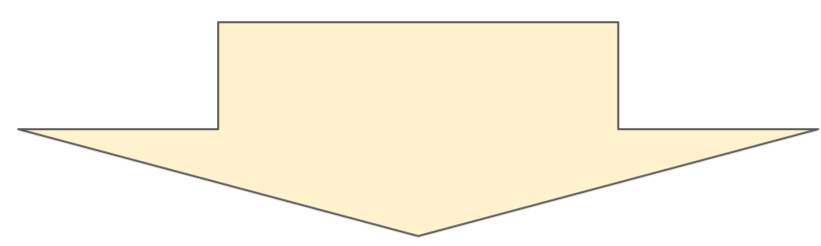
(一部抜粋)

(2)北高の先生(数名)へのアンケートorインタビュー

以上の調査から...

・教科質問に行きたくても、職員室への入りづらさやタイミングにより先生に質問に行くことができない生徒が多く、教科質問よりも友人に質問する割合が高い。

・生徒の約7割は教師、約3割は生徒同士で質疑応答ができるアプリや、職員室の先生の状況がわかる機能がほしいと望む人が多い。



この結果を踏まえ、先生に教科質問に行けない生徒もこのプランを活用することでより簡単に教科質問をすることができるようになり、学力向上につながると考える。

Aの場合

- ①先生に対して質疑応答ができる上、生徒同士でもできる
 - 一つの質問でも更に深められる
 - 先生方も生徒がつまずいている箇所がわかるため授業の参考になる
 - 先生と生徒、双方ともにスキルアップできる

②一対一で質問ができるので、学校での教科質問と類似した状況をつくること
 →『職員室に入る』という行為自体を行う必要がなくなるので教科質問のハードルが大幅に低下すると考えられる。
 →先生も時間を気にすることなく解説等ができるのでは

Bの場合

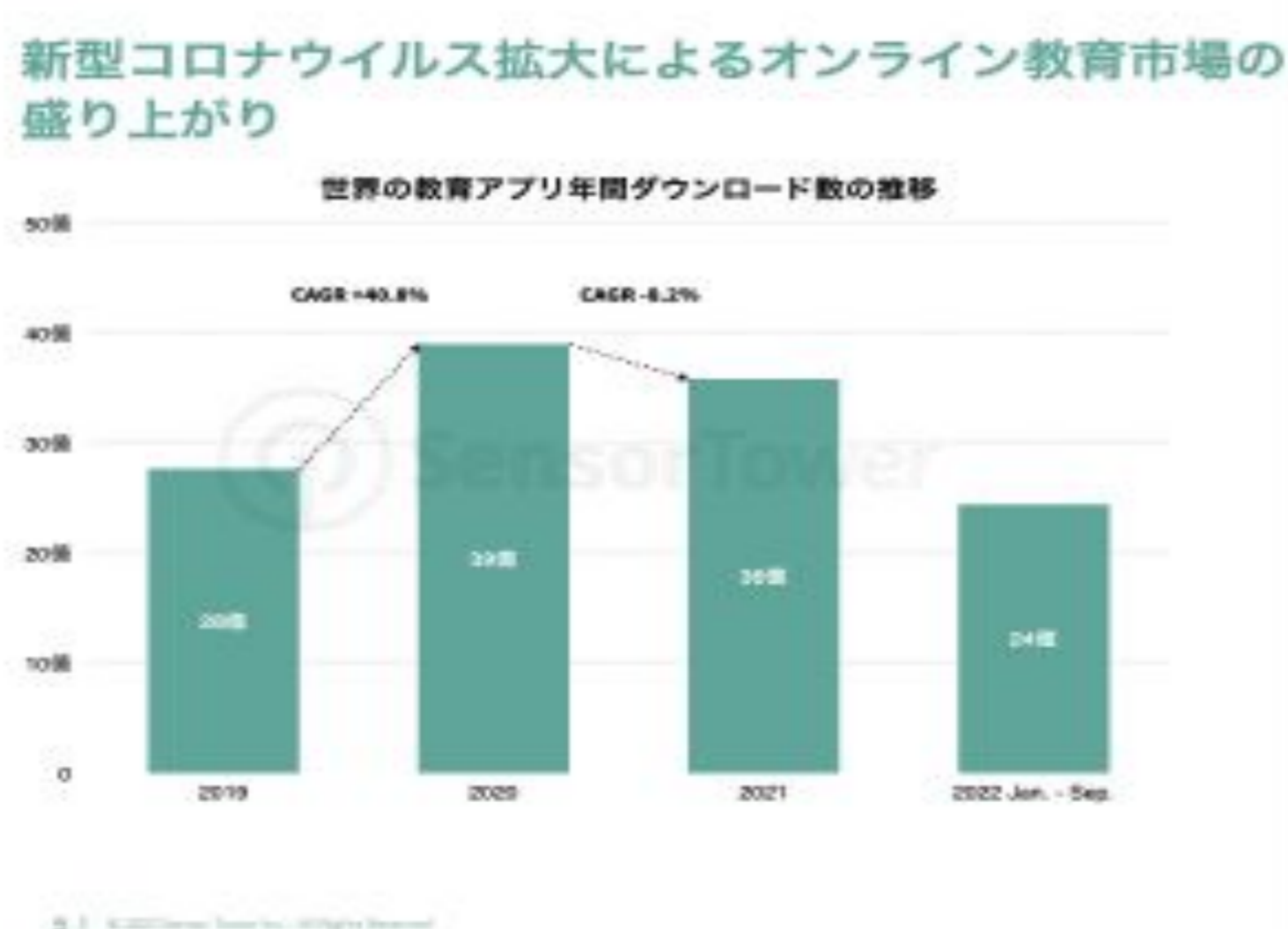
- ・職員室にいらっしゃる先生がわかりやすくなる
 - 教科質問にできなかった約8割のうちの半数が回答した「職員室に行きづらい、入りづらい」の解消
- ・導入するのが簡単で費用がかからない
 - 費用削減や早急課題解決ができる

4市場・競合

〈市場の動向〉

現在日本では、2020年1月からコロナ禍の緊急事態宣言等により学校に行かず、家庭内で勉強する機会が増えた。この事に伴い、教育アプリ市場は大きく発展した。

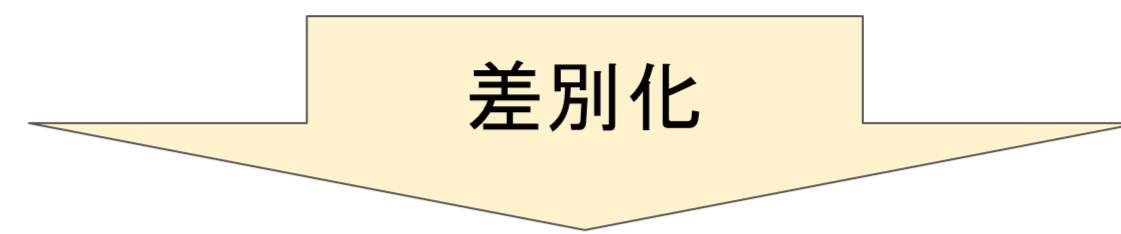
2019年の教育アプリダウンロード数は28億で、2020年は39億回と、40.8%増加した。その後、2021年には36億回とダウンロード数はやや減少しているものの、新型コロナウイルス流行前の水準を上回っている。



〈競合〉

クアンダ

・分からない問題の写真を撮るとサービスに登録している講師の解説が確認できる。解説が分からない場合は一対一チャットで質問ができる。数式計算機などのサービスも利用することができる。



検討中のアプリ(アプリJ)

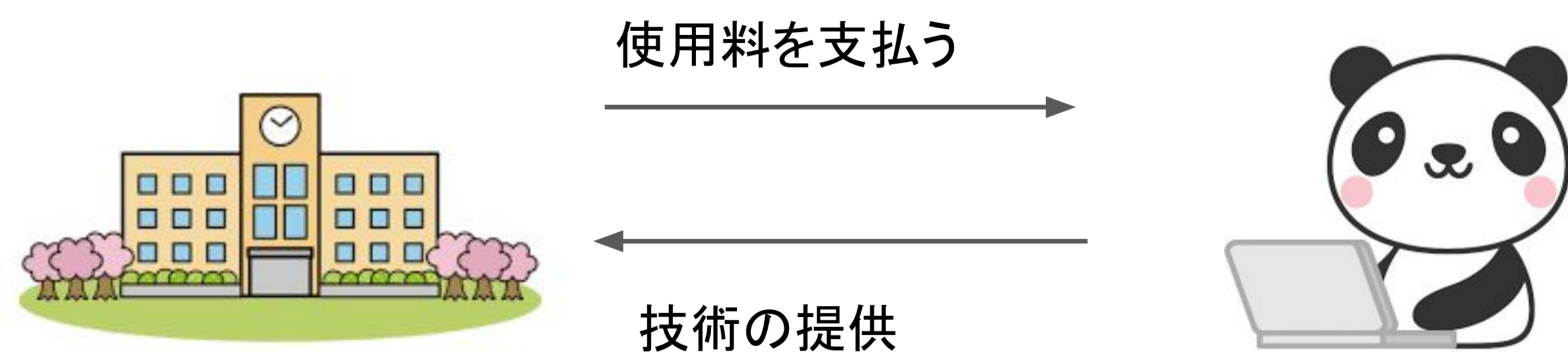
★校内限定にすることによって...

- ・授業進度のばらつきを最小限に抑えることができる。
 - 教科質問をしやすい
- ・回答者も北高生や北高在籍教諭に絞られるので、情報の信憑性が高い。
 - ・同校内で切磋琢磨しあえる場所が増える
 - 質の高い学習、教育につながる。

5収益

〈収益の流れ〉

このアプリを取り入れたい学校から使用料を頂く。



6参考文献

・[Sensor Tower「2022年世界の教育アプリ市場インサイト」](#)

